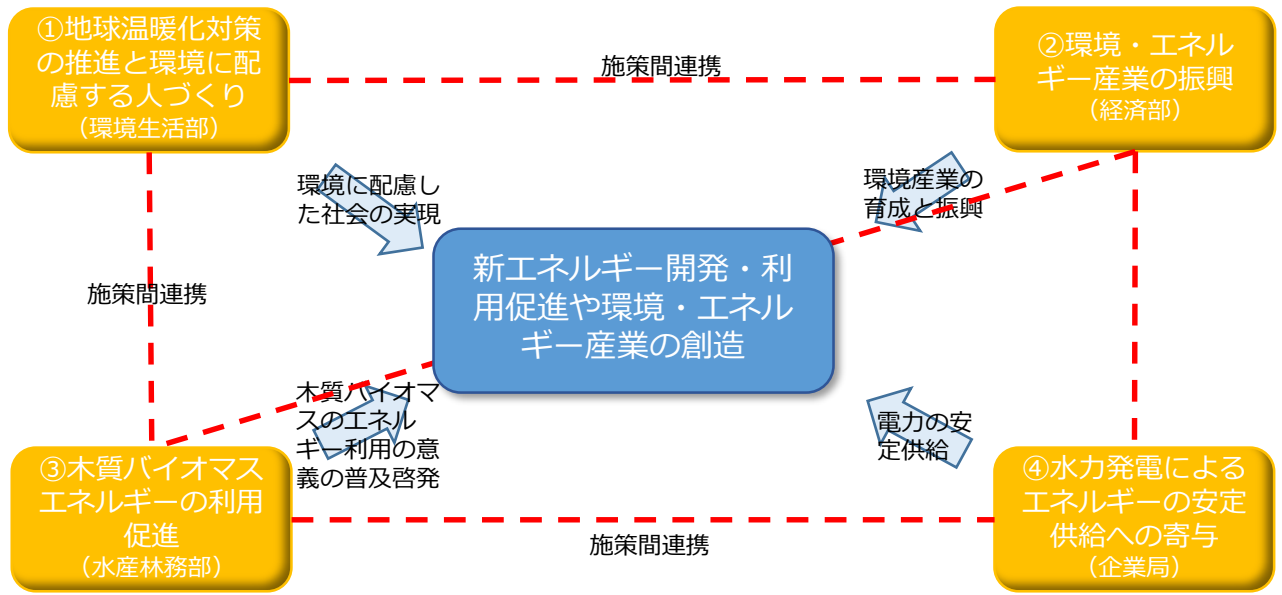


**【政策の方向性と施策の関係】**



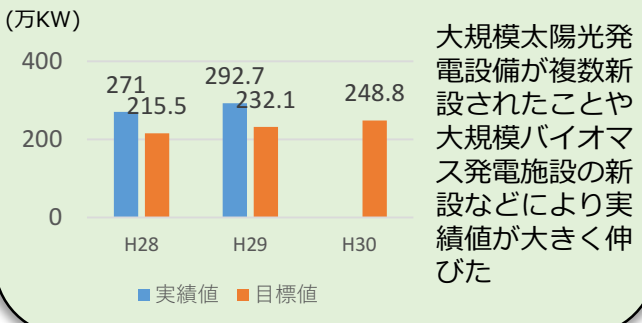
施策名	課題等	主な取組	総合評価
①地球温暖化対策の推進と環境に配慮する人づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道の民生部門、運輸部門の温室効果ガス排出割合が高い</li> <li>・トップクラスの再生可能エネルギー賦存量を有すが、系統連系の課題</li> <li>・環境に配慮したライフスタイルの定着を図ることが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関や事業者と連携した普及啓発の実施</li> <li>○市町村会議を実施し情報共有や取組促進</li> </ul>	効果的な取組を検討し引き続き推進
②環境・エネルギー産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギーが安定的に供給されることが重要</li> <li>・道内企業の約9割をしめる小規模企業では、省エネの取組が進んでいない</li> <li>・エネルギー資源を最大限に活用する取組を進めることが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成功事例などの普及啓発や集客力の高い商業施設において情報提供を行い、省エネを促進</li> <li>○地域のエネルギー地産地消の取組を促進</li> <li>○先進事例調査及び道外展示会への出展ほか7つの取組</li> </ul>	効果的な取組を検討し引き続き推進
③木質バイオマスエネルギーの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー利用のための木質バイオマスの需要が高まっている</li> <li>・林地未利用材の安定供給体制を確立することが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○森林整備事業による搬出間伐を促進</li> <li>○木質バイオマスの集荷・利用施設等の整備などに対して支援</li> <li>○熱利用システムやボイラーの導入に関するセミナーや研修会ほか3つの取組</li> </ul>	概ね順調に展開
④水力発電によるエネルギーの安定供給への寄与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進んでいる施設もあり、適切な維持管理と計画的な補修</li> <li>・改修等を行うことが必要</li> <li>・不測の事態に備えた防災体制の充実に取り組むことが必要</li> <li>・国が進める電力システム改革は、道営電気事業経営に大きな影響</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電気事業法に基づく発電事業者として、北海道電力(株)へ電力を供給</li> <li>○清水沢発電所改修事業</li> <li>○発電監視制御システム改修事業</li> </ul>	概ね順調に展開

【施策の詳細については、評価調書をご覧ください】

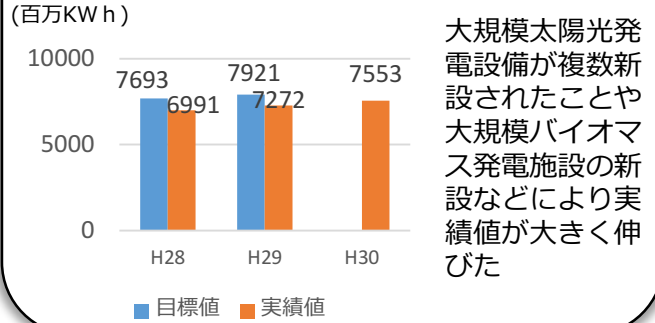
<総合計画施策推進状況>

【総合計画の指標】

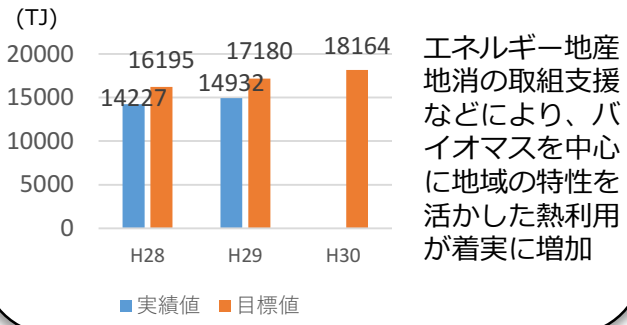
新エネルギー導入目標【発電分野】設備容量  
 (万kW) (施策①②③④)



新エネルギー導入目標【発電分野】発電電力量  
 (百万kWh) (施策①②③④)

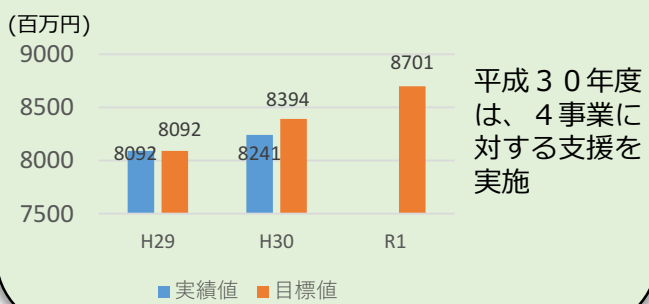


新エネルギー導入目標【熱利用分野】熱量  
 (TJ) (施策①②③)



【関連指標】

空知・釧路産炭地域新産業創造等基金活用額の累計値 (百万円) (施策②)



道営発電所の最大出力(kW) (施策④)

